

令和8年6月 日

墨 田 区 長
山 本 亨 様

墨田区協治（ガバナンス）まちづくり
推進基金審査会会長 永 澤 映

令和7年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの
助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の
評価について（答申）

令和6年6月6日付け6墨地地第300号をもって貴職より諮問のありまし
た事項のうち、下記事項に関して結論を得ましたので、別紙のとおり答申しま
す。

記

1. 令和7年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの
助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の
評価について

(別紙)

令和7年度にすみだの力応援助成金を交付した10事業及びすみだの夢応援助成金を交付した2事業の評価について審議した結果、以下のとおり意見をまとめました。

すみだの力応援助成事業(7事業)

【スタート応援コース】

	団体名	事業名	助成額(円)
1	そらのいる	不登校の子どもたちとその保護者への支援事業	80,000
	紹介によるネットワークの広がりにより、必要な人に情報や活動が届いている。参加者の意見を取り入れながら、様々な体験活動の機会を設定し、現場と深くつながりを持ち、今の不登校の問題に対して適切な取り組みを行っている点を評価する。一方で、イベントのような一過性のものではないので、利用者家族や社会からまず信用を得ることが必要である。不登校の理由は多様であり、その支援体制の構築・連携が必要なため、各方面の関係者とのつながりを深めながら継続していくことを期待する。		
2	すみだドローンフレンズ	初心者向けドローン体験イベント(地域交流)事業	71,900
	参加者の9割がドローン初心者であり、普通授業では得られないICT教育の体験により、空間認知能力を養う機会を与えられたこと、親子でのふれあいや、幅広い年齢層での地域交流を促進するきっかけとして最新技術であるドローンを活用したことを評価する。一方で、一日限りのドローン体験イベントでは社会課題解決には直接結びつかないため、イベント前後に地域コミュニティづくりをしたり、様々なイベントと協力して一緒に実施するなど、活動の工夫が求められる。		
3	すみだウェルネス実行委員会	ウェルネス啓発イベントで健康づくりの「はじめの一步」	99,000
	幅広い対象に向けて実施した体験型ワークショップは、区民の心身を健やかに保つための最初の一步となり、健康に対する啓発・普及に寄与し、参加者の満足度とその後へ繋がる成果を得たことを評価する。一方で、高まった健康意識が日々の健康に向けての生活に繋がるよう、地域のウェルネス関連の事業者や団体と協力し、広報やイベントを充実させるなど、継続的な活動に期待する。		

【ステップアップ応援コース】

	団体名	事業名	助成額(円)
4	My Favorite Things LABO.	0歳ベビーから100歳シニアまでの キャラクタージャズコンサート事業	450,000
	出演者も含め、幅広い対象に向けて、参加する全ての人を楽しめるように工夫されている。単なる鑑賞にとどまらず、体験できるよう工夫がされており、音楽を楽しみながら子育て世代と祖父母世代をつなぐ、多世代交流の環境づくりに取り組む点を評価する。一方で、幅広い年齢層に向けて担い手、ボランティアとしての参画を促進することや、世代での交流による効果をより意識しての継続を期待する。		
5	みんな北斎プロジェクト	みんな北斎プロジェクトアトリエ	386,457
	障がいのある人を対象とした自由制作の場の提供により、互いに刺激し合いながら、利用者同士・家族同士で交流できる機会を創出している点を評価する。参加費の設定や、画材の費用負担・保管などの課題を発見し、持続可能な運営体制構築へ向けた努力も評価できる。今後は、さらなる参加者増加のための工夫とともに、活動を通じての効果・成果をしっかりと検証していくことが求められる。		
6	まちなか de ガーデナー	すみだコットン計画(綿の花とコットンボール でつながろう)	173,000
	墨田区の「メリヤス」を感じさせる事業名や、綿という、珍しくて興味を惹く素材を使い、里親制度を取り入れ地域の繋がりをストーリー性のある展開で広げ、綿の成長が楽しめる仕組み作りを評価する。また、ただ育てるだけでなく、その間もLINEで交流を深め、イベントで育てた綿を使用したワークショップで更に多くの方の緑化への関心を高めたことも評価できる。今後は更なる緑被率の向上に加え、区内の小中学生を里親の対象とし、衣料品を大切にすなどの教育効果をあげるなど、活動を通じて得る成果や効果も視野に入れて継続していくことを期待する。		
7	公益社団法人東京都助産師会墨 田台東地区分会	はじめてパパの子育て支援事業	86,956
	集客に苦労しながらも段階的な工夫による運営改善をし、交流・学習機会が少ない父親層へのアプローチを行った点を評価する。一方でターゲットに確実に情報が伝わり、参画してもらえるような口コミやコミュニティづくりも望まれる。ママの傍聴参加による参加しやすい環境づくりや子育て支援関連施設との協力・連携等、多様なターゲティング手法を試行し、継続的に交流できるコミュニティの場の創出を期待する。		

8	特定非営利活動法人日本わくわくキッズ実行委員会	子ども店長集まれ！すみだキッズ春フェス	410,000
	<p>区内の関係機関とのつながりを最大限に活用し、墨田区商店街連合会のキッチンカーや伝統工芸士のワークショップなど、墨田区が誇る資産を活用したこと、子どもが主体的に参加し体験することで、様々なコミュニケーション能力や社会性を育むきっかけ作りに寄与した企画を高く評価する。一方で、目標としている「子育てしやすい地域」の実現に対する効果検証や、実施におけるリスク分析等も求められる。今後さらにさまざまな企業や地域団体との協力体制を構築し、連携を強化し、資金的にも自立した継続的な活動の展開を期待する。</p>		
9	特定非営利活動法人あそび研究会	なつのあそび大学	500,000
	<p>区内企業や大学と連携をしながら地域資源を活用し、子どもの創造性や考える力を育む取り組みを評価する。また、若年層の主体的な運営参加や、政治への関心を高める機会の創出も評価できる。一方で、消耗品費が占める割合など、経費において今後の運営の持続には懸念がある。確実な地域の支援の継続を得るためにも、町工場や協力企業にも子どもたちの成長が分かる仕組みづくりが望まれる。</p>		
10	特定非営利活動法人声とことばの力	多世代交流で「SUMIDA コミュニティネットワーク」を広げよう！～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～	450,000
	<p>多様な団体とともに工夫をしながら事業を実施し、地域の活性化を図る取組みとなっている点を評価する。一方で、事業の目的である「未来プレゼンター」の育成が薄い点や、子どもたち向けのイベントが多く、シニアへの取組があまり感じられない点が懸念点である。事業の目的と実施内容の整合性や、シニアとの交流を促進する取組の工夫が望まれる。</p>		

すみだの夢応援助成事業（2事業）

	団体名	事業名	助成額(円)
1	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」2025	62,600,235
	<p>コンサートの開催から音楽を使ったワークショップまで多彩な事業を通じて、多くの方に良質な音楽に触れられる場や交流の場を作っている点を評価する。また、他団体との連携が強化されている点も評価できるので、今後の新たな取組につながることを期待する。</p> <p>一方で、参加人数だけを成果ととらず、地域への効果測定も意識し検証していくことが望まれる。今後も「音楽都市すみだ」として、いつでも音楽に触れられる環境を目指し、より区民に近い楽団となることを期待する。</p>		
2	一般社団法人SSK	街中全てをあそび場に！！ 「移動式あそび場プロジェクト」	3,624,030
	<p>年々活動が広がり、子どもたちが安心して外で遊び、学年を超えた交流ができる場を創出した点を評価する。参加者と関係性を築いたうえでインタビュー調査を実施し報告書にまとめたことで、地域ニーズを把握する貴重な財産を築けたことも評価できる。一方で、毎日プレイカーが来られるわけではないので、今後は地域住民との関係性を深め、プレイカーが来なくても継続的に外遊びを楽しめる仕組みづくりや、参加者数だけでなく子どもたちの自主性や遊ぶ力の向上といった本質的な効果測定に取り組むことを期待する。</p>		

各団体への参考意見・アドバイス等

【すみだの力応援助成事業】

1. そらのいる

(1) 今後の継続、発展に向けて

・不登校関係者で作る「連絡協議会」に、各学校に在籍する主任児童員・民生児童委員が協議会にも構成員として協力を得られると、更に地域の中に広がり繋がりができる。また、連絡協議単年度で達成は難しいことだと思うので、どのようなプロセスを経るのか明確にしながらい進めていくと良い

・社会貢献者表彰を受けた先進的な不登校対応のフリースクールなどに助言と協働を求め、協力を得られると良い。<https://www.fesco.or.jp/award/index.php>

iU 大学の教え子に N 高校出身の学生が多く、現在は元気に通学しており、日々を意欲的に過ごしている。また同校と日本財団協働で ZEN 大学も創設された。現在不登校の子どもたちにも、経験談として示すことができると、将来への展望が期待できる。

2. すみだドローンフレンズ

(1) 今後の継続、発展に向けて

・工業高校や高専と連携したり、防災イベントに参加し活用するなど、ドローン単体ではなくいろいろなイベントの一つとして目に触れる機会があると、興味を持つ機会が増え、発展にも繋がることを期待できる。

3. すみだウェルネス実行委員会

(1) 今後の継続、発展に向けて

・年1回のイベントでウェルネスについて啓発活動をするためには、その後、参加者が無料かつセルフでできるウェルネス習慣をサポートするネット動画・アプリ・SNS コミュニティを創って提供し続けることが必要だと思う。ネット動画や SNS コミュニティは無料で解説でき、簡単なアプリも今は AI で創れる時代であるので、ぜひ挑戦してほしい。

4. My Favorite Things LABO.

(1) 今後の継続、発展に向けて

・ライブやワークショップの様子をネット動画やショート動画で公開し、参加者にシェアしてもらうことで、リピーターの増加につながる。また、今は Youtube などで、ジャズの名曲にも気軽に親しめるので、SNS コミュニティで、毎日メンバーがおすすめの名曲を紹介すると、世代を超えてジャズに興味を持つ人の増加にもつながる。すみだストリートジャズフェスティバルとの連携ができると良い。

・プロアマバンドだけでなく、墨田区内の学生ジャズバンドを参加させたり、シニアのバンド支援をしたりするとサスティナブルな事業になるのではないかと。

5. みんな北斎プロジェクト

(1) 感動した先進事例について

- ・平塚市美術館 開館 30 周年記念 studio COOCA のパッパラパラダイス 2021

-これがとってもとくいです

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/20162006_00015.html

- ・わらび座とヘラルボニーがコラボしたイーハトーブシアター

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000097097.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000008.000097097.html)

6. まちなか de ガーデナー

(1) 今後の継続、発展に向けて

- ・墨田区では、公園でのイベント開催が頻繁にあるため、そこでブースを出し、綿の種や苗を配布し、成長したものや他の育てた植物を持ち寄り、展示するというイベントも、綿や緑化について広く周知する機会となるのではないかと考える。

7. 公益社団法人東京都助産師会墨田台東地区分会

(1) 予防的効果について

- ・父親の育児参加を呼び掛けるだけでなく、裏では、幼児虐待を防ぐ意味も大きいと考える。社会貢献者表彰受賞者の青少年養育支援センター陽氣会 杉江 健二さんが名古屋市などで実践されている CPA = Communicative Parenting Approach 「SS 式イライラしない子育て法」を父親にも教えることも効果的である。

<https://youkikai.net/>

8. 特定非営利活動法人日本わくわくキッズ実行委員会

(1) 今後の継続・発展に向けて

- ・参加した子どもたちが自分たちの体験や学びを語る教育動画（親子許可とクローズド公開前提）を作成し、応募する子どもたちに観てもらえる機会があると大人から教わる以上に高い教育効果が得られる。さらに、地産地消や、環境に配慮した商品の大切さや、ものづくりの面白さや大変さ（スミファ）を学べる機会があると、保護者達にも好影響があり、地元のメーカーや商店街からの協力を得るきっかけにもつながる。

9. 特定非営利活動法人あそび研究会

(1) 今後の継続・発展に向けて

参加者や協力者のネットワークが広がりつつあるため、保護者を対象に地域への理解を求める活動も併せて進められると良い。その一環として、町会やお祭りへの参加、すみだ北斎美術館や新日本フィルコンサートの見学、スミファや3M運動との連携などもできると良い。それぞれ子どもたちの参加を心待ちにしているので、よい連携ができる。

10 . 特定非営利活動法人声とことばの力

(1) 今後の継続・発展に向けて

こども未来応援団（シニア）、未来プレゼンター（学生）候補となるボランティアを集めるためには、地元から探して苦労するより、あえて広くボランティア意識の高い地域外の人を集めるのも効果的。内容的にも、日本財団ボランティアセンター「ぼ活」サイト（<https://vokatsu.jp/>）に集まる5万人の中から多数の希望者が集まると思われる。事業に参加したボランティアが増えることで、課題とされているシニアへの効果が拡大し、発展が見込まれる。

【すみだの夢応援助成事業】

1 . 公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団

(1) 音源の活用について

音楽関係の権利は複雑だと思いますが、日本全国レベルの公的組織、文化庁や笹川音楽財団に音源などを委託して、日本の文化芸術と教育振興のために使うのであれば、権利者もOKしてくれる（せざるを得ない）のではないかと？そうすれば、音源活用のために資金を使わずに、結果として新日本フィルのPRになりファンが増えると思う。 <https://s-mf.or.jp/>

(2) その他（評価答申の補足）

毎年、寄付金も集まっており、事業に対する評価は高いが、このままで良いとルーティン化してしまわないようにしてほしい。

例えば、区民の音楽に対する意識は変わったのか、コンサートをやることで地元商店街が活性化したのかなど、参加人数や来場者の満足度だけでない、地域にどのような効果が出ているのかも検証していく必要がある。

2 . 一般社団法人SSK

(1) 人件費について

多くが人件費や調査関係費に使われているが、日本財団ボランティアセンター「ぼ活」サイトに集まる優秀な大学生やゼミ指導教官を動員して、彼らの教育や研究にも資するようになればよいのではないかと。 <https://vokatsu.jp/>

(2) 報告書はお金をかけて内向きに出版にするより、kindleを使ってISBNも取り、ペーパーバック出版とkindle unlimitedで公開した方が、ノー固定費&リスクで効果的だと思う。今年度、東商墨田支部でkindle出版セミナーを企画しているので、ぜひご参加ください。（久米委員より）